

泌尿紀要  
Acta Urol. Jpn.

ACTA UROLOGICA JAPONICA

Vol. 35, No. 9 September 1989

# 泌尿器科紀要

第35巻 第9号 1989年9月

## 【原著】

尿路結石症における結石内細菌についての検討	岡 聖次・ほか	1469
磷酸塩尿の出現における尿 pH の役割	戸塚 一彦・ほか	1475
70%グルコースによる無尿患者の術後管理の経験	児島 真一・ほか	1479
膀胱腫瘍における MRI の診断的意義	中西 淳・ほか	1483
膀胱腫瘍に対する膀胱全摘術40例の臨床的検討	滝 洋二・ほか	1489
TUR を行った膀胱腫瘍症例の臨床的検討	温井 雅紀・ほか	1497
表在性膀胱腫瘍に対する BCG 膀胱内注入療法の経験	奥野 博・ほか	1503
膀胱癌の経尿道的切除直後における膀胱注入 doxorubicin の血清中への移行について	長倉 和彦・ほか	1509
Stage D <sub>2</sub> 前立腺癌に対する Ifosfamide, 5-Fluorouracil, Cisplatin 併用化学療法	竹内 信一・ほか	1513
前立腺癌腫瘍マーカーとしての前立腺特異抗原の臨床的意義 —三者同時測定をおこなった新鮮前立腺癌113例による γ-seminoprotein および前立腺性酸性フォスファターゼとの比較検討—	荒井 陽一・ほか	1519
Stage D 前立腺癌の臨床像	小林 信幸・ほか	1529
精巣上体アデノマトイド腫瘍の免疫組織学的検索(英文)	坂井 健彦・ほか	1537

## 【症例】

特発性後腹膜線維化症の4例	田村 芳美・ほか	1543
右腎機能低下をともなった下大静脈形成不全の1例	沼 秀親・ほか	1549
石灰化を伴った褐色細胞腫の1例	児島 康行・ほか	1555
5年間放置された腎癌の1例	滝 洋二・ほか	1561
腎盂腫瘍を思わせた食道癌腎転移の1例	長井 辰哉・ほか	1565
多房性腎嚢胞の1例	三宅 修・ほか	1569
腎盂尿管腫瘍を原発とした転移性副腎腫瘍の1例	岩佐 厚・ほか	1573
子宮頸癌を原発とした転移性尿管腫瘍の1例	三浦 秀信・ほか	1577
交通事故による非開放性尿管断裂の1例	多田 晃司・ほか	1581
膀胱原発 Malignant Mesodermal Mixed Tumor の1例	山田 芳彰・ほか	1585
尿道外脱出をきたした膀胱平滑筋腫の1例 —本邦報告膀胱平滑筋腫67例の臨床的検討—	佐久間孝雄・ほか	1591
シェーグレン症候群を併発した統発性膀胱アミロイドーシスの1例	奥野 利幸・ほか	1597
腎後性腎不全を呈した限局性膀胱アミロイドーシスの1例	江原 英俊・ほか	1601
両側睾丸腫瘍の1例	田中 重人・ほか	1607
睾丸固定術後に発生した睾丸腫瘍の1例	奥野 利幸・ほか	1613
多発性骨髄腫の睾丸転移の1例	小林 裕・ほか	1617
男子不妊症を主訴とした精囊異常拡張症の1例	入澤 千晶・ほか	1623
精索脂肪腫の1例	蔵 尚樹・ほか	1629

## 【統計】

兵庫医科大学泌尿器科学教室における 1987年の臨床統計	生駒 文彦・ほか	1633
------------------------------	----------	------

## 【治験】

免疫酵素測定法(TZR-516)による前立腺酸性フォスファターゼの臨床的検討	池本 庸・ほか	1639
下部尿路不定愁訴に対する Tofisopam の臨床的検討	笹川五十次	1643

# 泌尿器科紀要

## Advisory Committee

阿曾 佳郎      熊本 悦明      園田 孝夫      田崎 寛      前川 正信  
町田 豊平      宮崎 重

Editor : 吉田 修

Deputy Editor : 竹内 秀雄

## Associate Editors

大川 順正      折笠 精一      熊沢 淨一      小磯 謙吉      友吉 唯夫  
渡辺 決

## Editorial Board

生駒 文彦      上田 豊史      碓井 亜      大江 宏      大島 伸一  
大島 博幸      大田黒和生      大野 良之      大森 弘之      岡 隆宏  
岡島英五郎      岡田謙一郎      岡田 裕作      岡本 重禮      香川 征  
垣添 忠生      片山 喬      加藤 哲郎      守殿 貞夫      河内 恒雄  
河田 幸道      河邊 香月      川村 寿一      川村 猛      桐山 畜夫  
栗田 孝      桑原 正明      郡 健二郎      古武 敏彦      小松 洋輔  
小柳 知彦      近藤 厚生      酒徳治三郎      桜井 昶      里見 佳昭  
島崎 淳      白井 将文      瀬川 昭夫      田中 啓幹      津川 龍三  
土田 正義      東間 紘      中田 瑛浩      名出 頼男      東原 英二  
久住 治男      平尾 佳彦      三品 輝男      宮川美栄子      三宅 弘治  
宮崎 一興      矢谷 隆一      八竹 直      山田 英寿      山辺 博彦

Managing Editor : 松田 公志

Language Editor : 貝原 純子

Secretary : 太田 賢

## 購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都 5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投稿規定 (1989年3月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、臨床統計、そのほかで英文または和文とする。原著、症例報告、臨床統計などは、他の雑誌に発表されたことのない内容でなくてはならない。
  - (1) 総説、原著論文、臨床統計、そのほかの普通論文の長さは、原則として、刷り上がり本文5頁(400字×20枚)までとする。
  - (2) 症例報告の長さは、原則として、刷り上がり本文3頁(400字×12枚)までとする。
  - (3) 和文原稿はできるだけワープロを使用し、B5版用紙に20字×20行、横書きとする。年号は西暦とする。文中欧米語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め(ただし、文節の始めに来る場合は大文字)、タイプで明瞭に記載する。
    - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名(教授、部長、院長、科長、医長など)、著者名の順に和文で記載する。筆頭者名と、2語以内の running title を付記する。  
例：山田、ほか：前立腺癌・PSAP
    - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。ワープロ原稿可。
  - (4) 英文原稿はA4版原稿用紙にダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録本文の順に記した和文を付記する。
  - (5) 図(Fig.)、表(Table)は必要最小限にとどめ、普通論文では図10枚、表10枚まで、症例報告では図5枚、表3枚までとする。  
図、表、写真などはそれぞれ台紙に貼付し、それらに対する説明文は別紙に一括して一覧表にする。説明文は英文を原則とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリミングし、図・表は誤りのないことを十分確認のうえ、トレースして紙焼したもの(コピー不可)が望ましい(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。写真は明瞭なものに限り、必要なら矢印(直接写真に貼付)などを入れ、わかりやすくする。
- 6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文の文脈順に入れる(アルファベット順不可)。その数は30までとする。

例：山田<sup>1,3,7)</sup>、田中ら<sup>8,11-13)</sup>によると…

雑誌の場合—著者名(全員)：標題、雑誌名 巻：最初頁-最終頁、発行年

例 1) Finney RP, Sharpe JR and Sadtowski RW: Finney hinged penile implant: experience with 100 cases. *J Urol* 124: 205-207, 1980

例 2) 竹内秀雄, 上田 眞, 野々村光生, 飛田収一, 大石賢二, 東 義人, 岡田裕作, 川村寿一, 吉田修: 経皮的腎碎石術(PNL)および経尿道的尿管碎石術(TUL)にみられる発熱について, 泌尿器科紀要 33: 1357-1363, 1987

単行本の場合—著者名(全員)：標題、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

例 3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: *Urolithiasis Research*. Edited by Fleish H, Robertson WG, Smith LH and Vahlensieck W. 1st ed., pp. 331-334, Plenum Press, London, 1976

例 4) 大保宣一：腫瘍病理学。ベッドサイド泌尿器科学，診断・治療編。吉田 修編，第1版，pp.259-301，南江堂，東京，1986

- (7) 原稿は，オリジナル1部とコピー2部（図，写真は3部ともオリジナル）を書留で送付する。万一にそなえて，コピーを手元に控えておくこと。

（原稿送付先）

〒606 京都市左京区聖護院山王町18

メタボ岡崎 301号

泌尿器科紀要刊行会宛

- (8) 論文の採否：論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。
- (9) 論文の訂正：査読審査の結果原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，編集部宛送付すること。なお，Editor の責任において多少字句の訂正をすることがある。
- (10) 校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
- (11) 投稿にあたっては，本誌を十分参考にして体裁を守ること。

### 3. 掲載

- (1) 論文の掲載は採用順を原則とする。

迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円，6頁以上は1頁毎に10,000円を加算したものを申し受ける。

- (2) 掲載料は1頁につき和文は5,500円，英文は6,500円，超過頁は1頁につき7,000円，写真代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける。
- (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療器械の使用などに関する研究論文（治験論文）については，掲載料を別途に申し受ける。

4. 別冊：実費負担とし，著者校正時に部数を指定する。

### Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, the director's name, key words (less than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.  
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer・PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details refer to a recent journal.